

## 令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立小池小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ペア活動やグループ活動を多く取り入れたり、グループのワークシートを作成したりしたことで、児童が意欲的に取り組んだり、達成感を得たりすることができた。
- ・マット運動、高跳び、水泳など、様々な場の設定をしたことで、苦手意識の強い児童も自己の課題に適した活動を選び、取り組む姿が増えた。

#### (2) 課題

- ・どの学年においても、人間関係が固定化されてくると、誰とでも仲良く運動することに課題が生じてくる。運動の特性を生かしながら、誰とでも仲良く運動できる活動を設定していく必要がある。
- ・高学年になるにつれて、運動への苦手意識が生じるとすすんで取り組まなくなる傾向が表れやすい。今後も、低学年から児童の意欲を高める運動の場を整える必要がある。

### 2 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「遊び」を通して知識・技能が身に付くような声掛けや支援を誰でもできるよう、指導例を共有する。</li> <li>○児童が楽しい運動に出会えたり、楽しみながら技能を身に付けられたりする場や教材・教具を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自らの力に応じて練習の仕方や、場を選択できるように環境を整える。</li> <li>○自分や友達のよい動きについて発表する時間を設けて、考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全に楽しく活動するために、きまりを守ることの大切さを繰り返し指導する。</li> <li>○授業中にも互いに称賛し合えるような機会を設定し、誰とでも仲良くできるような活動を多く取り入れる。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽しさや喜びに触れながら技能を身に付けられるように教材教具の準備、教材の工夫を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習カードや掲示物、ICT機器を用いて、自己の能力に適した課題を見付けたり、課題解決のために活動の場を選べるようにしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○きまりを守って誰とでも仲よく運動したり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにめあてを提示する。</li> </ul>

#### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○得意・不得意の意識の差が見られる。それぞれの児童の実態に合った段階別、課題別の場を設けることで技能の習得を目指せるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の能力に適した課題を見付けたり、課題を解決するための方法や活動を工夫したりできるように、教材や場の設定を分かりやすく提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれの児童の実態に合った段階別、課題別の場を設けたり、活動やルールを工夫したりし、学習意欲を高めていく。</li> </ul>